

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12505

ポンプ場運転管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	4	防災体制の充実
施策	1	災害に強いまちづくりの推進
取組方針	3	土砂災害・水害の予防対策の推進

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	下水道費		
	目	下水道施設管理費		
	大事業	下水道施設管理事業		
中事業	ポンプ場運転管理事業			

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	河川港湾課	曾山 誠	435-1090
事業実施の根拠法令				関連課	下水道管理課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	地域住民の浸水被害への対策として設置したポンプ場の管理事業		河川等のポンプ場を除く各ポンプ場の維持管理、ポンプ運転及び保守点検			
事業内容		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		雨水ポンプ場の維持管理	ポンプ場の運転管理全般(ポンプ場35か所) 大雨時一運転管理業務 平常時一機械設備の運転確認(点検、清掃等)	ポンプ場の運転管理全般(ポンプ場37か所) 大雨時一運転管理業務 平常時一機械設備の運転確認(点検、清掃等)	ポンプ場の運転管理全般(ポンプ場37か所) 大雨時一運転管理業務 平常時一機械設備の運転確認(点検、清掃等)	ポンプ場の運転管理全般(ポンプ場37か所) 大雨時一運転管理業務 平常時一機械設備の運転確認(点検、清掃等)

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	98,619	99,606	90,646	99,626	90,680	87,810	90,352	0	90,352	0
伸び率(%)	△9.7%	△9.6%	△8.1%	0%	0%	△11.9%	△0.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	12,468	11,269	0	0	17,437	17,437	0	0	0
	正規職員以外	1,886	472	0	0	0	0	0	0	0
	小計	14,354	11,741	0	0	17,437	17,437	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	8,600	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	98,619	99,606	90,646	91,026	90,680	87,810	90,352	0	90,352	0
所要人数(人)	正規職員	1.56	1.41	0.00	0.00	2.19	2.19	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.76	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	委託料69,605千円 光熱水費16,706千円 機械修繕料1,069千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	雨水ポンプ場管理箇所	か所	目標値	36	36	37	37	37
			実績値	36	36	37		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	雨水ポンプ場修繕箇所	件	目標値					
			実績値	24	17	19		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	近年激増しているゲリラ豪雨への対策として、当事業の充実は不可欠である。
見直し・改善内容	浸水被害解消のために新設されるポンプ場の管理や老朽化したポンプ施設の改修など、事業の充実を図るためにはコスト拡大は避けられない。